

令和6年度使用小学校教科用図書
調査研究結果報告書

理 科



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

小 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	理 科
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい理科
大日本図書(株)	4	大日本	新版 たのしい理科
学校図書(株)	11	学 図	みんなと学ぶ 小学校 理科
教育出版(株)	17	教 出	未来をひらく 小学理科
(社)信州教育出版社	26	信 教	楽しい理科
(株)新興出版社啓林館	61	啓林館	わくわく理科

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	2	東書	新編 新しい理科

項目	項目毎の調査研究結果
1 内容の範囲及び程度	ウ 学習指導要領の「理科の目標および内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に従い、内容が適切に取り上げられている。
2 内容に関する配慮事項	<p>ア すべての単元で、問題解決学習「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」「広げる」「ふり返る」の学び方が見える化されており、児童主体で問題解決学習を実現できるような内容や構成になっている。</p> <p>ア 巻頭の「6年生で学ぶこと」と巻末の「1年間をふりかえろう」では、理科の4領域で学習内容を整理して、系統立てて見通しと振り返りを行うことができる。また、下学年や他単元とのつながりのある内容をQRコンテンツ「5年生で学んだこと」「つなげる学び」で見ることができる。</p> <p>オ 安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面では、「きけんマーク」をつけ、禁止事項とその理由が赤字で強調されている。また、感染症対策予防についての注意喚起を行うQRコンテンツ「うつらないうつさないために」が設けられている。</p>
3 分量	<p>ア 年間配当時数 105 時間に対して 10 時間程度余裕をもった分量になっている。</p> <p>ウ 「物のはたらき」「物の性質」「生命」「地球」の領域の内容に偏りがなく調和がとれている。</p>
4 使用上の便宜	<p>ア 教科書の中にQRコード約230個用意しており、学習の深まりに有効に働くように配置されてある。また、節末や単元末には、学んだことを日常生活や社会につなげる読み物や活動が設定されており、理科の学びの有用性が実感できるようになっている。</p> <p>イ 学習したことを生かして発想を広げる「ひろげよう！理科の発想」や学びを広げる読み物「理科の世界 探検部」などで児童が自ら学びを広げていけるようになっており、背景の色をそれ以外とかわえている。</p>
5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 紙面A4版、ユニバーサルフォントを採用しており、児童が見やすく読み間違えにくい。 用紙は再生紙、植物インクを使用し、また、ページ数が減少し軽量化されている。環境配慮基準を満たした「グリーンプリンティング認定工場」に認められている。

<p>教科ごとの 選定の観点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童が思考する場面では、主に働かせる「理科の見方・考え方」を具体的に示し、理解の見方・考え方を働かせながら問題解決を進められるような構成になっている。 2 単元末には、「ふりかえろう」を設け、調べたことや、各節の「まとめ」の内容を把握できるようになっている。 2 観察・実験の場面で確認できる「理科の調べ方を身につけよう」でまとめて示している。 3 問題解決の力を育成する場面では、「のぼそう!理科の力」のマークで強調して示し、児童が深く考え、他者と対話することを通して、思考力、判断力、表現力等を育成できるようになっている。 4 興味・関心をかきたてる写真やイラスト、読み物などの資料を多く取り上げ、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むことができる。単元導入の「レッツトライ！」などで、身近な自然の中で生き物を観察したり、植物や昆虫を栽培、飼育したりする場面を設けている。 5 「解決の方法を発想する力」を養うことができるように、問題解決学習の「計画しよう」の場面では、QRコンテンツの「デジ活」が用意されている。「デジ活」は、操作・書き込み型のコンテンツのため、多くの児童にとって解決の方法を計画しやすい。 6 自然の事物・事象について理科の見方・考え方を働かせ、問題を迫及する活動を通して、主に差異点や共通点を基に「レッツトライ！」の活動から、働きや関わり、変化及び関係についてより妥当な考えをつくりだす力を養うことができる設定になっている。 8 主体的な問題解決学習を助けたり、学んだことをさらに広げたりすることができるように、QRコードを関連箇所に配置しており、児童がすぐに活用できるようになっている。また、「1人1台端末の活用」が想定されており、授業の中でタブレットの端末をより活用できるように、活用方法を紹介している。(単元「電気と私たちの暮らし」では理科の学習内容を関連づけながらプログラミングを体験する活動を設け、必要性を感じながらプログラミングに取り組み、論理的思考を養うことができるようになっている。 9 災害に関する節を設け、防災・減災を自らの問題としてとらえ、主体的に判断して行動できるようになっている。 9 単元「台風と天気の変化」と「流れる水のはたらき」では、防災・減災のための日頃の備えや生命を守る行動について、理解を図る内容となっている。(10 観察、実験などの指導にあたり、安全指導が必要な場面では、「きけん」というマークと注意事項をその理由と共に示している。また、巻末には実験器具の正しい使い方が示されており、事故防止に留意した内容となっている。 10 「理科の調べ方を身につけよう」に「しせつを活用しよう」を設け、地域の博物館や科学館などの社会施設を活用した活動を紹介している。
------------------------	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	4	大日本	新版 たのしい理科

項目	項目毎の調査研究結果
選定の観点	1 内容の範囲及び程度 ア 理科の学習指導要領に記載された項目を全てとり上げている。 イ 当該学年以上で学習する漢字には、ルビをつけている。問題解決活動を促すマークについて、3、4年では「予想しよう」「考えよう」などを使用し、5、6年では「予想」「考察」などとしている。
	2 内容に関する配慮事項 イ 読み物などの資料、理科のノートの書き方などで丁寧な指導ができるようにしている。また、話し合い活動をとり上げ、表現力が身につくように配慮している。 ウ 問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の3ステップと厳選されているため、児童が自主的に学習に取り組みやすい。また、「伝えよう」では、理科の見方につながる着眼点を示しており、言語活動の充実について配慮されている。 エ 児童の考えを発表する場面では、多くのパターンを例示し、手がかりになるようにしている。
	3 分量 ア 生物分野は、生物を飼育・栽培、観察するのに適した学習時期とし、その他の領域は系統性や他教科との関連、学年ごとの理科室の使用時期などを総合的に考慮し、バランスよく配列されている。 イ 各単元の学習は必要かつ十分なものをとり上げ、年間の予備時数もしっかりととれるように配慮されている。5年生の年間指導計画は91時間に設定されており、法定の配当時間より14時間程度余裕をもてるようになっている。各領域の内容に偏りが無い。
	4 使用上の便宜 ア 読みやすい位置での改行など、特別支援教育での教科書の使用に配慮されている。 ア 児童が読みたくなるようなイラストを使って、身近な題材を取り上げた問いかけや読み物から導入することで、理科への興味関心をもつことができるようにしている。 イ 科学技術や理科と仕事、防災など、理科を学ぶことの有用性を実感できる読み物資料が適切に用意されている。
	5 印刷・製本等 ・紙面はA4版を採用している。 ・カラーユニバーサルデザインに対応している。(色覚障がい児童に対応) ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・表紙は丈夫で汚れにくくやぶれにくい「UVラミネート」加工がほどこしてある。 ・光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス機能「Lock3」新型コロナウイルス不活性化証明水性ニス処理が施してある。

教科ごとの選定の観点

- 1 教科書全体を通して、主体的に問題解決活動を行うことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮されている。6年では特に、「妥当な考えをつくり出す力」を中心に育成することに配慮し、各単元の考察の活動を充実させている。
単元末の「学んだことを生かそう」で思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮されている。
- 1 問題解決の過程を、見つけよう（緑）、調べよう（橙）、伝えよう（青）の3色ラインでつないでおり、問題解決過程のどこに当たるか分かりやすい内容となっている。また「問題を見つける」と「考察」の場面では、「ココに注目」という博士の台詞が入っており、児童がどのような「理科の見方・考え方」を働かせればよいか分かるようになっている。
- 2 単元末や巻末には、単元末問題や全国学力・チャレンジ問題があり、「知識及び技能」の定着や、その単元で定着した「知識及び技能」の活用する力を一体的に育てることができるようになっている。
- 2 学習単位ごとの「結論」で基礎・基本をまとめている。単元末に、知識及び技能を定着させるための問題「確かめよう」を掲載している。また、巻末付録の「6年のまとめ」では、学年全体の基本的な学習内容を確認できるようになっている。巻末付録の「理科の学びに役立てよう」には、観察、実験などに関する技能を身につけるための資料を掲載されている。観察や実験などの手順や器具の使い方などの動画コンテンツも用意されている。
- 5 各単元の「見つけよう」「伝えよう」には、理科の見方につながる着眼点を「ココに注目」で表しており、5年生で大切になる「条件制御」の考え方に意識をむけて問題解決することができるようにしている。
- 6 「理科の学び方」をもとに、問題を追究することを通して、理科の見方・考え方を働かせ、生命を尊重し主体的に問題解決しようとする態度を養うことにつながる。
- 6 主たる活動の後に行う「深めよう」や「学んだことを生かそう」、資料「りかのたまたまばこ」「サイエンスワールド」などを通して学んだことを自然の事物・現象に当てはめ、学ぶ意義や有用性を認識できるよう工夫されている。
- 8 単元毎に、コンピュータを適切に活用することができるようにウェブコンテンツが多数用意されている。
- 9 防災に関する資料は、黄色囲みでタイトルを「防災」とし、意識して取り組めるようになっている。
- 9 「地域のメダカを守ろう」や「わたしたちの生活と電磁石など、SDGsの学習にもつながる資料を取り上げ、持続可能な未来のための教育に配慮している。また、「流れる水の働き」の単元末には「洪水への備え」という資料が用意されており、災害に関する基礎的な理解を図ることができる内容となっている。
- 10 「科学館・博物館に行ってみよう」では、各地の科学館・博物館などと連携を図ることを促している。また、資料「りかのたまたまばこ」「サイエンスワールド（発展）」では、博物館や科学センターなどを紹介している。

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	11	学図	みんなと学ぶ 小学校 理科

項目		項目毎の調査研究結果
選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<p>ア 学習指導要領に示された理科の目標、及び各学年の目標を、問題解決的な過程を通して養うことができる内容になっている。</p> <p>イ 3・4年生では、「結果から考えよう」、5・6年では、「考察しよう」と発達の段階に応じた育成ができるようになっている。</p>
	2 内容に関する配慮事項	<p>ア 各単元は、季節に応じて適期に設定され、単元間の関係づけが行われている。</p> <p>ア 単元導入や本文中の適所に「思い出そう」を設けられており、既習学習や、各教科での学習生活経験と関連づけながら系統的に学習を進めることができるようになっている。</p> <p>イ 記録カードの書き方やノートのとまとめ方、話し合い、発表方法など、言語活動が充実するようになっている。</p> <p>エ 理解度に応じて解説動画を視聴することができ、個別最適に、確実な定着を図ることができる。</p> <p>オ 観察、実験では、「注意マーク」と注意文で丁寧な注意喚起を行っている。</p>
	3 分量	<p>ア 配当時数は、児童が自ら活動し、問題解決学習を行うのに適切な時数を配当されている。</p>
	4 使用上の便宜	<p>イ 発展的な学習内容「やってみよう」「もっと知りたい」では、文章と写真で、説明されており、また、中学校との関連を同様に記載されている。</p>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・横A4サイズ、縦B5サイズである。 ・用紙を軽量化している。 ・植物性インクを使用している。 ・写真や資料図は、実物を忠実に再現している。 ・表紙は、耐久性がある。
教科ごとの選定の観点	<p>1 各学年とも「見つけよう」「調べよう」「まとめよう」の学び方が全単元を通して統一されており、問題解決的な学習が展開できるように構成されている。</p> <p>育成を目指す資質・能力を「理科モンスター」として示し、それらを単元の特性に合わせて3つずつ示している。</p> <p>2 単元末の「まとめノート」では、単元の基礎的基本的な知識及び技能の定着を図る問題を記載している。</p> <p>2 学習したことを応用して考えたり、ものづくりや身の回りの事象を説明したりするなどの活用問題が、知識・技能の定着の観点から効果的に配置されている。</p> <p>4 問題解決の過程「見つけよう」「調べよう」「まとめよう」を8つに細分化したステップにまとめ、それぞれの段階で身につけたい力を「理科モンスター」として示すことで、児童が主体的に学習の見通しをもち、振り返ることができるよう工夫している。</p> <p>4 「自然を大切に」「SDGs」のマークを適所に設け、自然を愛する心情や生命を尊重する態度を育むことができる。</p>	

- | | |
|--|--|
| | <p>5 各単元で内容に合わせた「つきたい力」が3つずつ示されており、それらの観点で学びの見通しをもち、振り返りを行うことで問題解決の力を養うことができる内容になっている。</p> <p>6 自然保護の観点から、個人の責任をもって飼育するような記述をいれるなど自然保護・生命尊重する態度を養う内容がある。</p> <p>8 子どもが必要な際に随時動画や資料などを閲覧できるよう、QRコードでのコンテンツを掲載している。また、学習前や学習後には振り返りの問題をQRコード経由で解くことができ、解答チェックも合わせて行うことができる。全学年にQRコードによる「やってみようプログラミング」が設置されており、3年生からプログラミングを体験しながら論理的思考を育むことができる。</p> <p>8 効果的な場面でICTを活用できるよう、記録や調べ学習、発表などの各場面においてイラストや写真を示し紹介している。巻末「考えよう調べよう」でも、調べたり振り返ったりするときのICT活用のコツを示し、多様な学習活動を選択できるよう工夫されている。</p> <p>9 災害の内容は導入や興味づけとして扱わず、自然現象の学習の後に配置し、科学的な視点で災害を捉える構成になっている。</p> <p>9 5年「川と災害」では、学習を自らの生活につなげられるよう防災に関する内容が記載されている。また、環境保全や現代的な課題克服を目的として、裏表紙には学習と関連させてSDGsの目標について科学的な視点で児童が考えられるようにしている</p> <p>10 実験器具の使い方については巻末に示しており、児童が自分で操作できるように事故の防止に留意した内容になっている。</p> |
|--|--|

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	17	教出	未来をひらく 小学理科

項目		項目毎の調査研究結果
選定の観点	1 内容の範囲及び程度	ウ 理科の学習指導要領に示された目標に則り、観察・実験を通して問題解決の力が育成されるように、また、理科の見方・考え方を働かせて問題解決を進める構成になるように構成されている。すべての学年で「観察や実験を通して、より確かな考えをつくり出す力」が育成できるように編修されている。
	2 内容に関する配慮事項	ア 「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」では、国語で学んだ力を生かす方法が説明され言語活動の充実を促している。また、単元中や巻末の「算数とのつながり」では、学んだことと算数との関連が記載されている。 ウ 各単元に「見つけよう」「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」には、キャラクターの対話場面が多く掲載されている。単元ごとに主人公が登場し、その主人公が問題を解決していく姿を表現することで、児童が自主的に学習に取り組めるよう工夫している。 エ 単元末の「ふり返ろう」「たしかめよう」では、感染症による休校やテスト前に、家庭での個に応じた指導への配慮のため、単元のまとめや練習問題が記載されている。 オ 安全に対する配慮が必要な箇所には、「注意マーク」とともに、「危険マーク」とその内容が注意文として赤字で印字されている。
	3 分量	ア 適切な時数と配分がされており、ゆとりをもって授業が進められるようになっている。各単元の初めに学習の系統を「学習のつながり」で示したり、既習内容を「思いだそう」で示したりして、児童が系統的に学習を進められるように配慮されている。
	4 使用上の便宜	ア 本文とイラストや写真がバランスよく配置され、児童が主体的に取り組む観察・実験などは常体で記述され、平易で簡潔、正確に表現されている。 イ 発展的な学習内容を取り上げる際は、関連するページに「資料」として文章を中心に紹介されている。 イ 二次元コード「まなびリンク」を誌面の小口側に配置することで、適した場所で有効にコンテンツを使用できるようになっている。 イ 「広がる科学の世界」では、5年生で学んだことをベースとして、中学校以上の内容を分かりやすく説明することで、中学校の学習に興味をもてるように工夫している。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版よりも上下にゆとりのあるA 4変形版を採用し、あじろとじ（針金を使用しない）を施している。 ・表紙には耐水加工や除菌加工がされている。 ・再生紙・植物油インキを使用し、環境に配慮している。 ・写真は、正確で色彩が豊かである。
教科ごとの選定の観点	1 単元毎に主人公を設定し、その主人公が問題を解決していく姿を表現することで、児童が問題解決する際の参考になるように工夫されている。	

- 2 「結論」では、「問題」と対応した表現にすると共に箇条書きで示されている。巻末の「使い方・調べ方」では、器具の使い方の手順を示し、動画（二次元コード）でも解説している。
- 3 問題解決の過程を「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果から考えよう」「結論」と過程ごとに表現し、学習を通して、児童に問題解決の力が身につくように配慮されている。
- 4 理科の見方・考え方を働かせることができるように、「見つけよう」「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」では、キャラクターの対話場面が多く掲載され、「学びを広げよう」では、学んだことをより深める課題が提示されている。
- 6 「メダカのたんじょう」や「人のたんじょう」など、生物に関する学習を通して、生命の連続性や自然環境と人間の共生など、幅広い観点で生命を尊重しようとする態度が養えるように工夫されている。
- 8 「プログラムの利用」を設け、センサーをつかったプログラミングの活動を「チャレンジ」で紹介している。
- 8 一人一台端末に対応して、二次元コード「まなびリンク」を設置している。「まなびリンク」コンテンツには、「ウェブずかん」、「使い方動画」があり、器具の使い方動画、結果や解説動画などがあり、個別最適な学びや児童が学びを深めることができる内容となっている。また、ICTの効果的な活用が想定される場面には「コンピューターマーク」や「カメラマーク」を付け、適切に活用できるように促している。
- 9 天気、川の学習で「台風と災害」「川と災害」を設け、学習内容と関連させて自然災害とその対策を扱うことで防災や減災の取組が理解できるように配慮されている。
- 10 巻末「科学館や博物館の利用」で利用を促したり、学習の中で、施設や専門家の活用例を紹介したりしている。
- 10 児童の目にとまるように、各学年の教科書の裏表紙に観察・実験を行う際の注意・危険事項を掲載してあり、事故の防止に留意している。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	2 6	信教	楽しい理科

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	2 内容に関する配慮事項	ア 多くの自然事象の素材や、観察・実験の手順や写真、イラストが掲載され、自然に興味を持ち、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっている。 ウ 各単元とも問題解決過程に沿った学習の流れとなっており、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行う活動を通して、問題を科学的に解決できる内容になっている。
	3 分量	ア 各単元の配分・分量は、授業時数や時期等に照らして適切である。 ウ 3年生は14単元、4年生は16単元、5年生は11単元、6年生は10単元で構成されている。
	4 使用上の便宜	ア 問題解決の手がかりとなる本文やイラスト、写真、図表等が適切に記載されている。問題解決を促し、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。
	5 印刷・製本等	○判型はA B版 ○印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体等適切である。
教科ごとの選定の観点	1 「理科学習の進め方」が掲載されているとともに、「問題→観察・実験→結果→わかったこと」の流れで学習構成されていて、問題を科学的に解決できる内容になっている。 2 「理科学習の進め方」が掲載されているとともに、「問題→観察・実験→結果→わかったこと」の流れで学習構成されていて、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことができる内容になっている。 3 観察や実験によって何を明らかにするかが記載されていて、問題意識をもって観察や実験を行い、問題解決の力を養うことができる内容になっている。 4 多くの自然事象の素材が掲載され、自然に興味を持ち、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっている。 5 問題解決の学習過程にそって構成され、問題意識を喚起する写真や具体的な方法などが掲載され、「エネルギー」や「粒子」といった科学的概念等を柱とした内容についての理解を図り、理科の考え方の力を養うことができる内容になっている。 6 問題解決の学習過程にそって構成され、問題意識を喚起する写真や具体	

	<p>的な方法などが掲載され、「生命」や「地球」といった科学的概念等を柱とした内容についての理解を図り、理科の考え方の力を養うことができる内容になっている。</p> <p>7 単元「2 身近なしぜんのかんさつ」や「3 植物をそだてよう」など、第2学年までの生活科の学習との関連が考慮された内容になっている。また、理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっている。</p> <p>8 QRコードで学習内容と関連したインターネット上の動画などを見ることができ、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用できる内容になっている。</p> <p>9 災害に関する学習内容が掲載され、天気、川、土地などの指導において災害に関する基礎的な理解を図ることができる内容になっている。</p> <p>10 「図書館や博物館、科学館で調べる」といった記述があり、指導内容に応じて博物館等との連携と協力を図ることができる内容になっている。</p>
--	--

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	61	啓林館	わくわく理科

項目	項目毎の調査研究結果
各教科共通選定の観点	1 内容の範囲及び程度 ウ 学習指導要領の「理科の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」に従って、観察・実験を通して問題解決の力が育成されるように、理科の見方・考え方を働かせて問題解決を進める構成になっている。
	2 内容に関する配慮事項 ア 問題解決的な学習が重視され、各教科及び学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。単元導入や本文中に「思い出そう」を設け、理科の既習内容や、各教科等での学習、生活経験を振り返って関係づけ、系統的に学習を進めている。 イ 発達の段階に応じた言語活動を充実できるよう配慮している。「考察しよう」や各学年巻末に「かく」「伝える」を掲載し、ノート書き方、話し合いや発表の仕方など、言語活動を充実できるよう配慮している。 ウ 「①見つける」「②調べる」「③まとめる」の3段階の学びのサイクルを繰り返し、問題解決の力を高め、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫している。(各単元) エ 単元末では、「まとめノート」「たしかめよう」「活用しよう」「くらしとリンク」と、単元の要点の整理から実生活への活用・応用まで、段階的に個人差に応じた展開となっている。 オ 全般にわたって、丁寧な「注意」が記入されている。観察・実験では、「注意」「保護眼鏡」「換気」マークでの視覚的な注意喚起を行っている。
	3 分量 ア 授業時数を考慮して観察・実験の数が組まれている。標準時数105に対して配当時数95に設定されており、10時間程度余裕があるため、児童が自ら活動し、問題解決学習を行うのに適した時数になっている。(5・6年) ウ 各領域、偏り無く配置されている。
	4 使用上の便宜 ア 観察・実験の操作を写真やイラストで丁寧に示されている。UDフォントやMUD(小さい文字でも見やすい)の採用、文字入りのマーク、文章の意味改行など、特別支援の観点から配慮がされている。 イ 発展的な内容は区別されており、学習に密接に関連し、学びをサポートする資料が取り上げられていて、学習の深まりに有効に働くように配置されている。風とゴムの力のはたらき「風の強さを変えると、ものを動かすはたらきは、どのようにかわるのだろうか。」、夏の夜空「夜空にかがやく星には、どんなちがいがあのだろうか。」、巻頭のガイダンスページ「空中にうかぶ電球」の写真に掲載するなど、探究心を高める資料を掲載している。また直接体験を補足・拡張するICTコンテンツが適宜配置されて学習の深まりに役立てることができる。
	5 印刷・製本等 ・横はA4サイズ、縦はB5サイズ、机上スペース内で取り扱いやすい大きさA4B版を採用している。 ・あじろとじ(針金無し)である。 ・用紙は再生紙、植物性インク使用、アレルギーや環境に配慮している。 ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本様式、材料が適切である。 ・令和5年度用までの教科書から、さらに軽量化し児童が持ち運びやすくなっている。

教科ごとの選定の観点

- 1 問題解決の過程を「見つける・調べる・まとめる」の3段階で示しており、理科の学びが積み重なるような全体構成になっている。単元内では、問題解決の各過程を言葉で大きく示し、「学びのライン」としてつないで示すことで、児童の自主的・自発的な学習を促している。
- 2 単元末の「まとめノート」では、単元の学習要点を一覧でふり返ることができ、「新しく学習した言葉」で用語の定着を図ることができるようになっている。また、「器具の使い方」など、観察・実験の基本的な技能は、教科書とQRコンテンツの動画と併用することで、定着を図ることができるよう整理されている。
- 3 問題解決の流れを見える化した3段階の学びのサイクルを繰り返し、問題解決の力を高めようとしている。
- 4 「理科の広場」や「くらしリンク」を掲載することで、理科を学ぶ意義や有用性を実感できるようにしている。
- 5 教科書イラストの吹き出しに「見方・考え方マーカー」を引くことで、児童が理科の見方・考え方をはたらかせられるように促している。
- 6 巻末では、理科の見方・考え方をまとめて紹介し、日常生活で見方・考え方が役立つ場面を漫画で紹介しているため、児童にとって理科の見方・考え方を身近なものに感じやすくなっている。
- 8 ICTの効果的な活用例を「活用の目的」とともに掲載しており、何のためにICTを活用するのか児童自身が理解できるようになっている。また、一人一台端末に対応して、「協働的な学び」をサポートするインタラクティブコンテンツ（シミュレーション等）、「もっと知りたい！」にこたえる資料系コンテンツ（動画・WEB 図鑑等）、「個別最適な学び」をサポートする学習系コンテンツ（補充問題・解説動画等）などのデジタル教材もある
- 8 「発電と電気の利用」では、電気を無駄なく使うプログラミングの活動を設定し、プログラムの結果をアニメーションで確認できるプログラミングシミュレーターを用意している。
- 9 「ウィズアース～〇〇の防災」や、「わくわくSDGs」を設け、防災・減災教育、環境教育に対応している。
- 9 教科書には「自然を大切に」のマークを適所に設け、自然環境への意識づけを行っている。また、「ウィズアース～雨や雪の防災」を配置し、自然災害を科学的に捉え、自分たちにできることを考えることで、防災・減災教育の実現を促している。